

桐生商工会議所管内  
景況調査報告書

第139回

(2022年10～12月期)

令和5年2月

桐生商工会議所

桐生中小企業相談所

# 調 査 要 領

1. 調査目的                      本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。
  
2. 調査時点                      2022年12月1日
  
3. 調査期間                      2022年10～12月期
  
4. 調査対象企業数 380企業（うち回答企業数145企業）
  
5. 調査対象業種
  - ①建設業（回答企業数24企業）  
建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他
  
  - ②商業・サービス業（回答企業数58企業）  
卸売業、小売業、飲食業、サービス業
  
  - ③製造業  
機械金属関連業（回答企業数36企業）  
鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他  
  
繊維工業（回答企業数27企業）  
撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d e x）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

## 1. 景況の動き

### 【業況DI】

今期の業況DIは、全体で**-22**。前期（-18）比は**-4**ポイントとなった。また前年同期（-20）比では**-2**ポイントとなった。

業種別では、**建設業-13**（前期比+9、前年同期比+14）、**商業・サービス業-51**（前期比-22、前年同期比-16）、**機械金属製造業±0**（前期比+7、前年同期比-14）、**繊維製造業+4**（前期比+8、前年同期比+16）となっている。

### 【採算DI】

今期の採算DIは全体で**-28**。前期（-23）比は**-5**ポイント、前年同期（-28）では**±0**ポイントとなった。

業種別では、**建設業-52**（前期比-34、前年同期比-12）、**商業・サービス業-54**（前期比-19、前年同期比-14）、**機械金属製造業+6**（前期比+20、前年同期比-1）、**繊維製造業+4**（前期比+19、前年同期比+27）となっている。

### 【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で**-24**。前期（-25）比では**+1**ポイント、前年同期（-17）比では**-7**ポイントとなった。

業種別では**建設業-23ポイント**（前期比-10、前年同期比+13）、**商業・サービス業-34ポイント**（前期比±0、前年同期比-20）、**機械金属製造業18ポイント**（前期比-9、前年同期比-18）、**繊維製造業-5ポイント**（前期比+9、前年同期比+19）となっている。

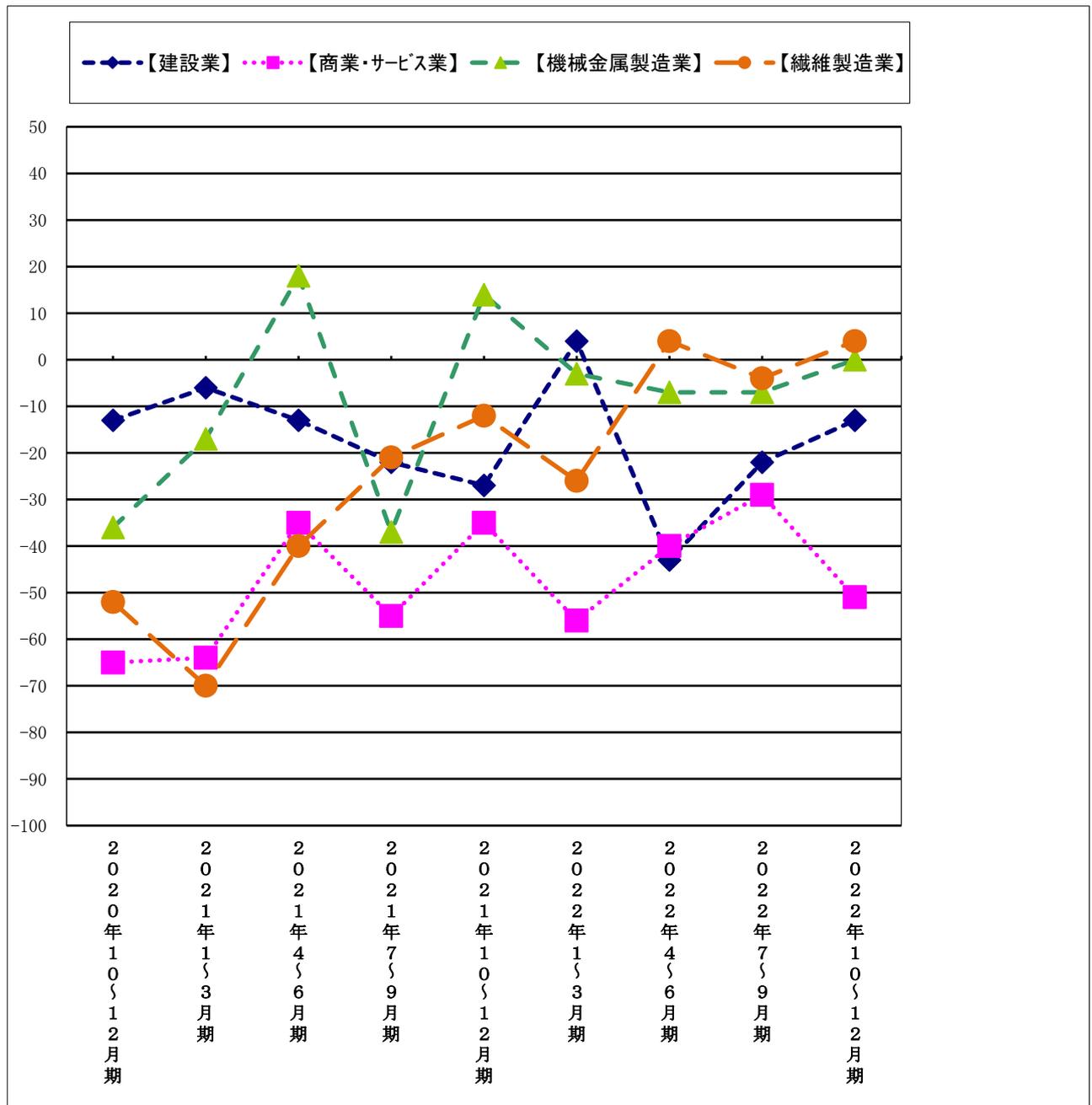
### 【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「材料価格の上昇」（23.3%）「民間需要の停滞」（16.7%）、**商業・サービス業**では「材料等仕入単価の上昇」（16.2%）「需要の停滞」（14.3%）、**機械金属製造業**では「原材料価格の上昇」（18.4%）「従業員の確保難」（14.3%）、**繊維製造業**では「需要の停滞」（20.3%）「原材料価格の上昇」（17.6%）が上位となっている。

## 業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2020年10～12月期	-13	-65	-36	-52
2021年1～3月期	-6	-64	-17	-70
2021年4～6月期	-13	-35	18	-40
2021年7～9月期	-22	-55	-37	-21
2021年10～12月期	-27	-35	14	-12
2022年1～3月期	4	-56	-3	-26
2022年4～6月期	-43	-40	-7	4
2022年7～9月期	-22	-29	-7	-4
2022年10～12月期	-13	-51	0	4

[2020年10～12月期] から [2022年10～12月期]



## 2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

### 【建設業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-13**。前期比は+9、前年同期比では+14ポイントとなった。  
業種別では**建築・大工業 [-10]、土木業 [-50]、管工事業 [-50]、鉄骨・鉄筋業 [±0]、電気工事業 [+25]、その他 [-17]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-23**。前期比-10、前年同期比では+13ポイントとなっている。

### 【商業・サービス業】

- 今期業況 **今期の業況DIは-51**。前期比は-22、前年同期比では-16ポイントとなった。  
業種別では、**卸売業 [-33]、小売業 [-67]、飲食業 [-25]、サービス業では [-41]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-34**。前期比±0、前年同期比では-20ポイントとなっている。

### 【機械金属製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは±0**。前期比では+7、前年同期比では-14ポイントとなった。  
業種別では、**鉄鋼業 [-100]、非鉄金属業 [±0]、金属製品業 [+11]、一般機械器具業 [+67]、電気機械器具業 [±0]、輸送用機械器具業 [-22]、精密機械器具業 [±0]、プラスチック製造業 [+40]、その他 [±0]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは+18**。前期比-9、前年同期比-18ポイントとなっている。

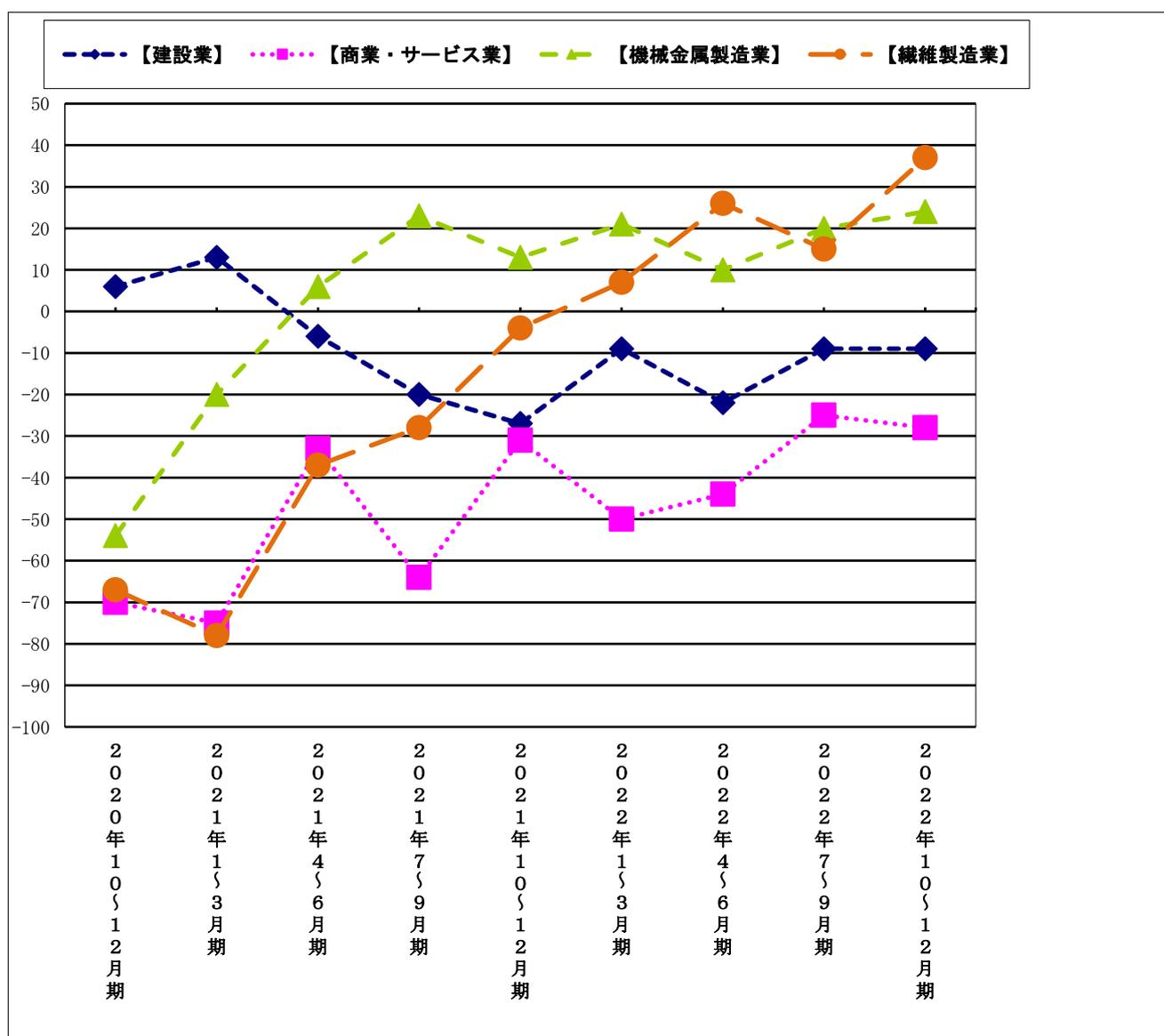
### 【繊維製造業】

- 今期業況 **今期の業況DIは+4**。前期比では+8、前年同期比では+16ポイントとなった。  
業種別では、**織物業 [+18]、染色整理業 [±0]、ニット・メリヤス業 [-50]、レース業 [-50]、縫製業 [±0]、刺繍業 [+50]**ポイントとなった。
- 来期業況 **来期業況予測のDIは-5**。前期比+9、前年同期比では+19ポイントとなっている。

### 売上額（完成工事額）DIの推移

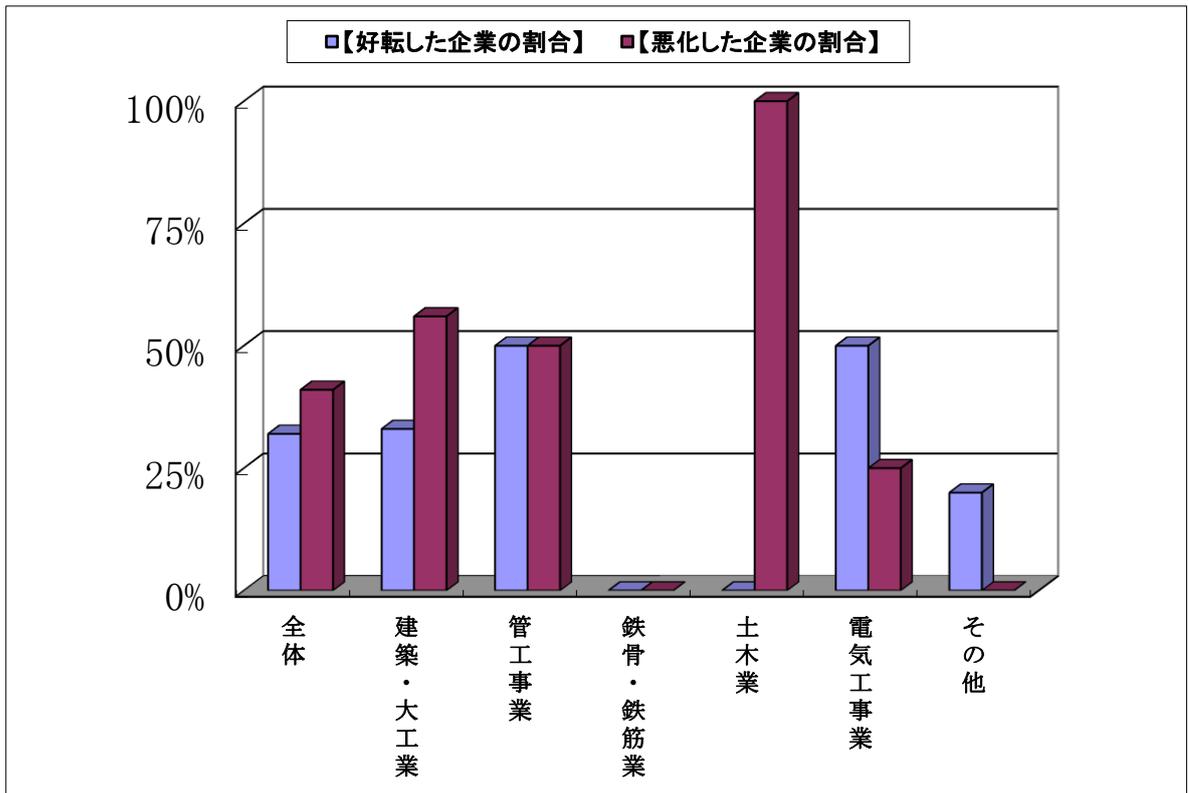
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2020年10～12月期	6	-70	-54	-67
2021年1～3月期	13	-75	-20	-78
2021年4～6月期	-6	-33	6	-37
2021年7～9月期	-20	-64	23	-28
2021年10～12月期	-27	-31	13	-4
2022年1～3月期	-9	-50	21	7
2022年4～6月期	-22	-44	10	26
2022年7～9月期	-9	-25	20	15
2022年10～12月期	-9	-28	24	37

[2020年10～12月期] から [2022年10～12月期]

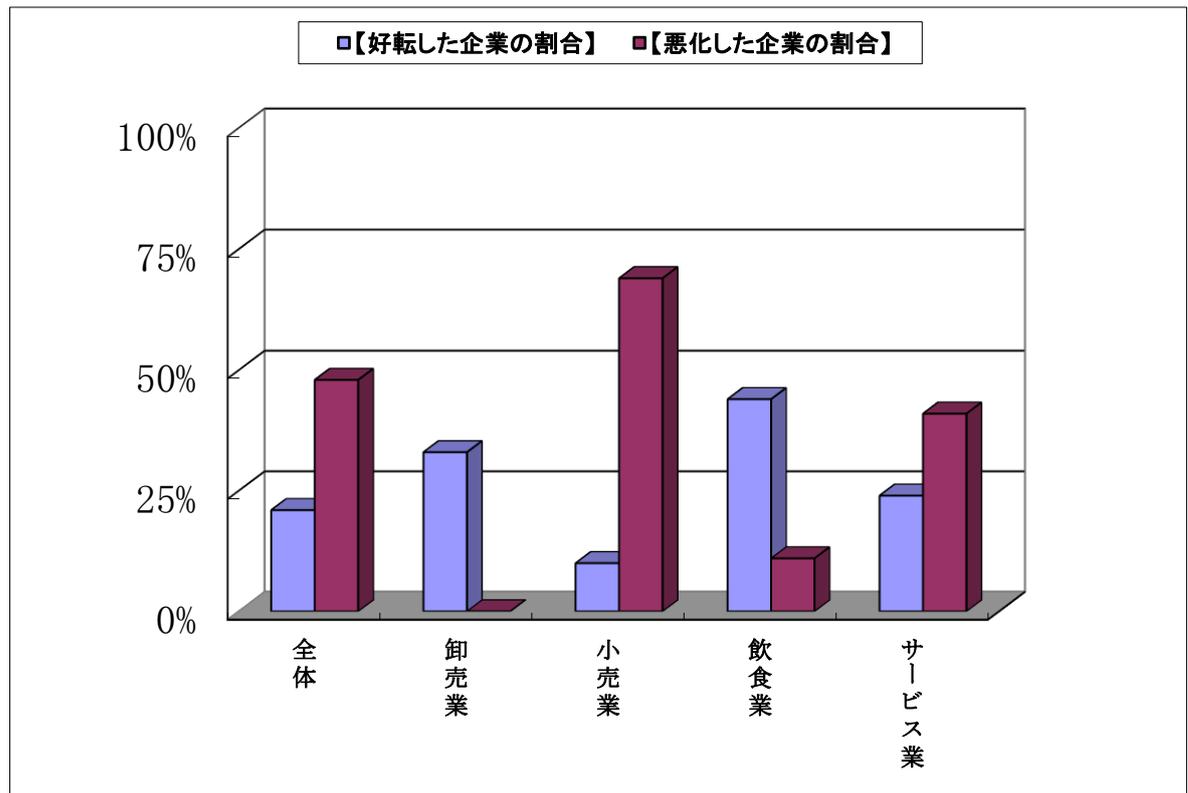


## 業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

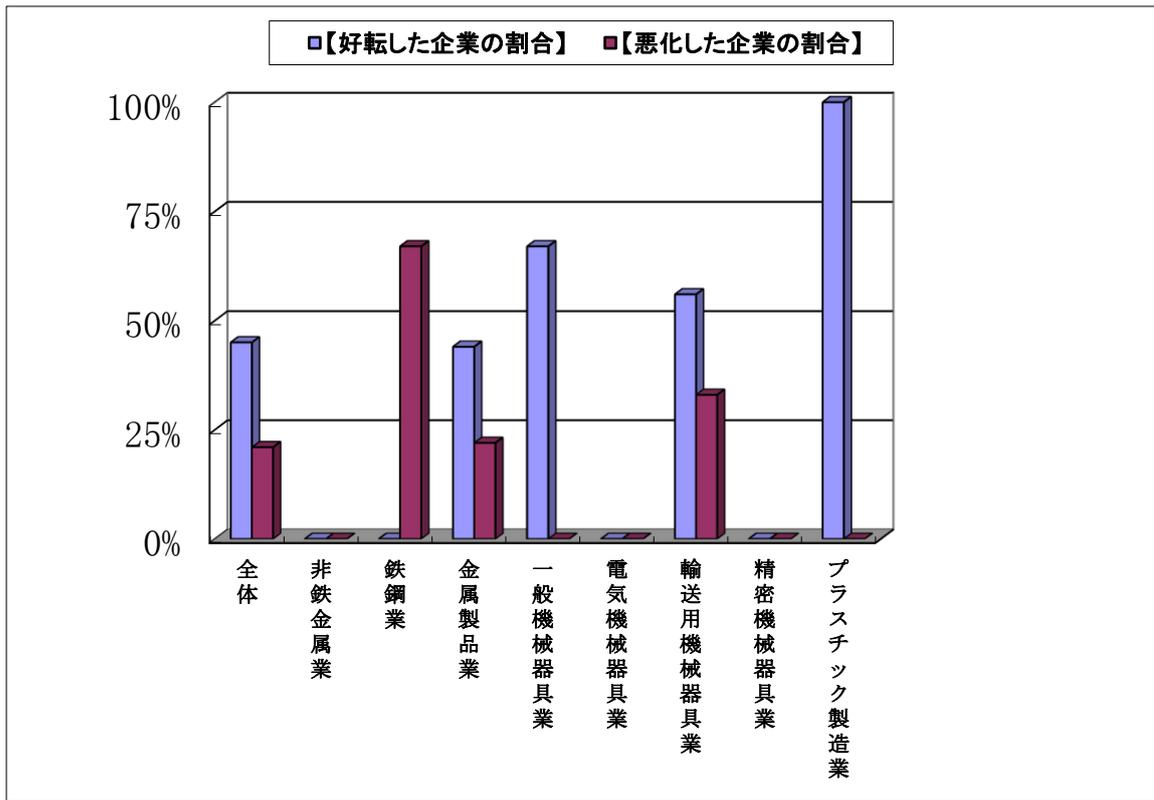
### 【建設業】



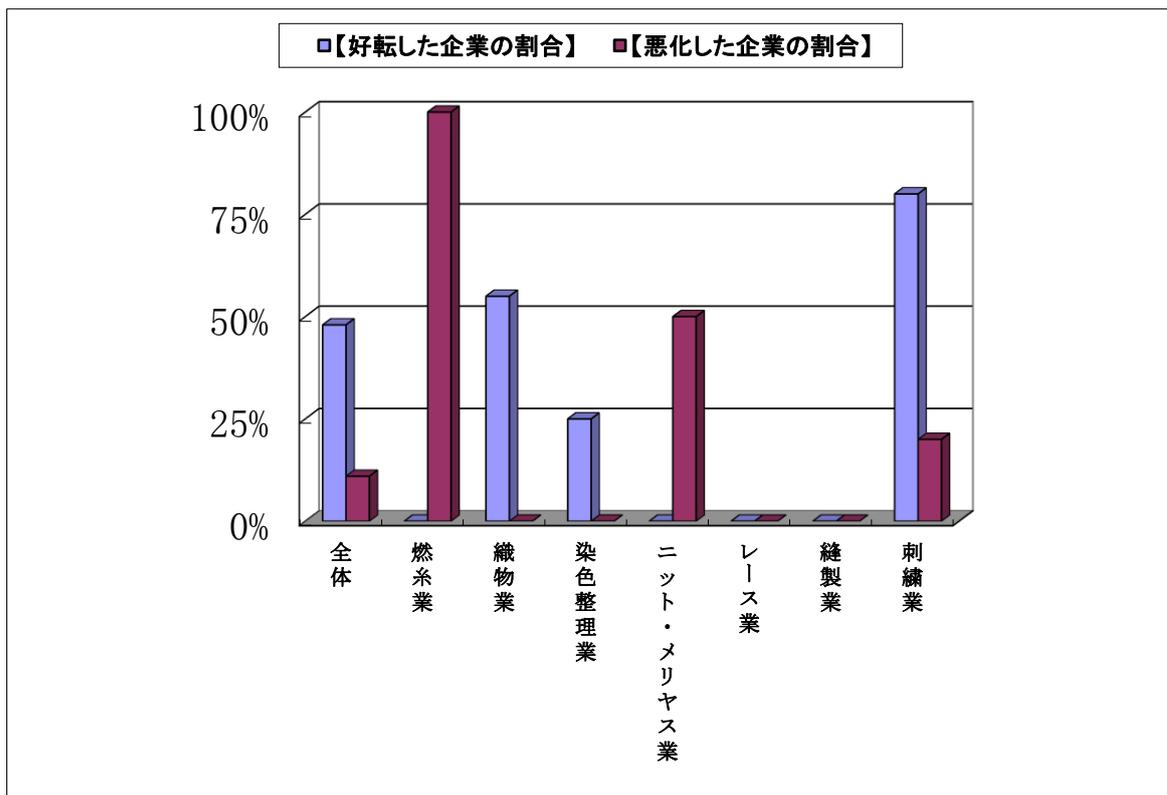
### 【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



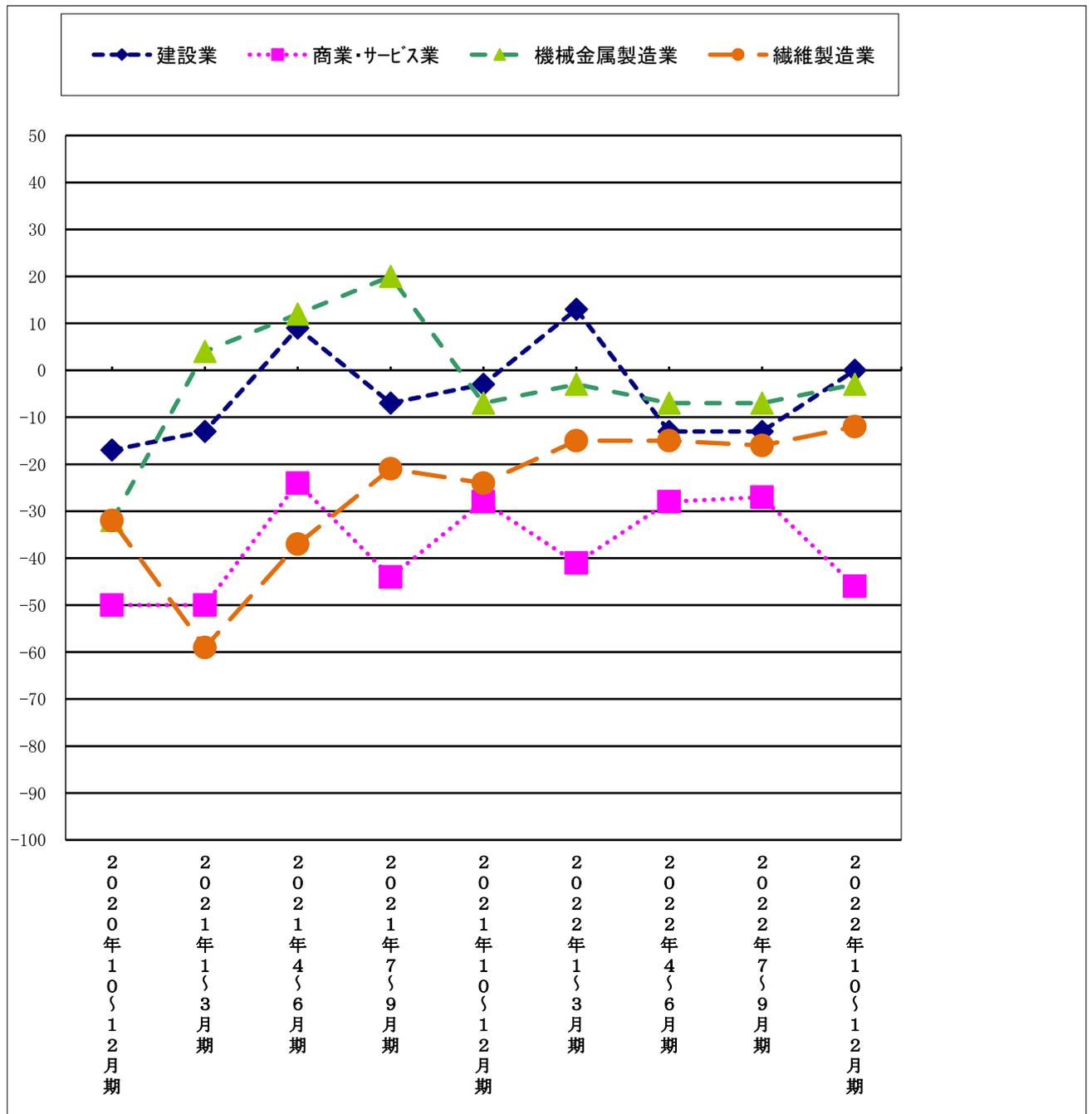
【繊維製造業】



## 資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
2020年10～12月期	-17	-50	-32	-32
2021年1～3月期	-13	-50	4	-59
2021年4～6月期	9	-24	12	-37
2021年7～9月期	-7	-44	20	-21
2021年10～12月期	-3	-28	-7	-24
2022年1～3月期	13	-41	-3	-15
2022年4～6月期	-13	-28	-7	-15
2022年7～9月期	-13	-27	-7	-16
2022年10～12月期	0	-46	-3	-12

[2020年10～12月期] から [2022年10～12月期]



## 今期直面している経営上の問題点

	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
建設業	材料価格の上昇 23.3	民間需要の停滞 16.7	従業員の確保難 15.0	熟練技術者の確保難 8.3	材料の入手難 6.7
前期	1位 25.0	4位 10.7	2位 16.1	5位 7.1	3位 14.3
前年同期	1位 23.8	2位 17.5	5位 7.5	4位 8.8	3位 13.8
商業・サービス業	材料等仕入単価の上昇 16.2	需要の停滞 14.3	消費者ニーズの変化への対応 11.7	従業員の確保難 8.4	人件費以外の経費の増加 7.1
前期	1位 15.6	2位 15.0	3位 13.3	5位 8.9	7位 5.2
前年同期	3位 11.2	1位 17.1	2位 14.4	4位 8.0	9位 4.3
機械金属製造業	原材料価格の上昇 18.4	従業員の確保難 14.3	原材料費・人件費以外の経費の増加 13.3	需要の停滞 12.2	製品単価の低下・上昇難 9.2
前期	1位 20.3	4位 10.1	3位 12.7	6位 7.6	2位 12.7
前年同期	1位 21.3	3位 11.3	6位 6.3	3位 11.3	2位 12.5
繊維工業製造業	需要の停滞 20.3	原材料価格の上昇 17.6	製品単価の低下・上昇難 12.2	生産設備の不足・老朽化 10.8	製品ニーズの変化への対応 9.5
前期	2位 23.5	1位 25.0	6位 5.9	4位 7.4	3位 8.8
前年同期	1位 25.4	2位 16.9	4位 11.3	5位 8.5	3位 12.7

## 事業所からのコメント（直面している問題点など）

### 〔建設業〕

- ・ 1件当たりの取引額の減少
- ・ 法人、個人の業況の見通しが立てづらい事
- ・ 官民需要停滞に加え、特に材料費石油関連の単価の上昇、人件費の増加等で先行き不安定

### 〔商業・サービス業〕

- ・ コロナだけでなく、全体的に経済の低迷、意識的買い控え等で落ち込みが大きい
- ・ 売上額の増加は値上げによるものである。電気代の増加が利益を圧迫しており、店の利益が出ないのに人件費上昇により会社の存続が危ぶまれる
- ・ 新型コロナウイルス第8波で今までで最悪の状況である。コロナワクチンと薬の効果が出てくれば来春より明るい兆しが出てくる。燃料費、電気代等物価高騰により戦中戦後に次ぐ苦境期である
- ・ 当期前半は対前年対比売上、経常ともコロナ化ではあるが上昇で利益の計上に至った。後半はコロナ化の影響が続く中、以前として家族葬が多く増収には繋がらない
- ・ 産休、育休者がおり、スキルのある人材確保難
- ・ コロナの解消に合わせて営業社員が増やせるとよいと思っているが、そのためには事業資金の借り入れが必要である
- ・ ランニングコスト上昇（特に電気料）で収益減

### 〔機械金属関連業〕

- ・ 自動車関係は作れば売れるが、半導体不足となっている。半導体が市場に出回ることを願っている

### 〔繊維工業〕

- ・ コロナ渦の中で諸手立てはしているが、前売りに出ることが難しい
- ・ 原材料価格の上昇による利益の低下を生産性でカバーしているが、これ以上上がるとカバーできなくなる。製品単価を見直し工賃アップが必要